

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37106	チームスポーツ演習 Team Sports Exercises	伊藤智式、伊藤照美			1	選択	1.2後期
科目の概要							
現代社会において、健康で豊かな生活を送っていくための一手段としてスポーツは重要な役割を担っている。そうしたスポーツが生涯を通じての日常生活の中で習慣化されていくことは、今や必要不可欠となっている。以上の観点から生涯を通じて健康維持のために実践可能なスポーツとして、集団的に実践できるバスケットボールとフットサルに取り組み実践し、その技能とゲーム運営方法等を習得していく。そして、この授業はディプロマポリシーの①②③④⑥に相当し、これらを身につけるために展開していく。							
学修内容				到達目標			
① 生涯を通じて日常的な生活においても運動スポーツの重要性を学習する。 ② スポーツを通して、集団におけるコミュニケーション能力が身につくことを学ぶ。 ③ 基本的な運動技能を身につけ、日常生活における身体活動の円滑化を図る。 ④ ルールや運営方法を学び、生涯実践に結びつける ⑤ 全体を通じてスポーツ文化に対する理解を深め、スポーツ・運動実践の意識を高め る方法を学ぶ。				① 日常生活の中で運動スポーツが習慣化できる。それによってディプロマポリシーの①②④を身につけることができる。 ② スポーツを通してコミュニケーション能力を身につけることができる。それによってディプロマポリシーの①②④⑥を身につけることができる。 ③ 日常生活において円滑な身体動作ができる。それによってディプロマポリシーの②を身につけることができる。 ④ 運営方法などを理解し、試合の運営能力を身につけることができる。それによってディプロマポリシーの②③④⑥を身につけることができる。 ⑤ スポーツ文化に対する理解を深め、スポーツ・運動の実践の意識を身につけることができる。それによってディプロマポリシーの①②④を身につけることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	スキル練習や試合、その他行事において自分の役割を積極的に果たす。					
	働きかけ力	チームとして良好な活動ができるように、声がけをしたり提案をする。					
	実行力	個人スキルの向上や目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成する。					
考え抜く力	課題発見力	自分のスキルやチームの弱点を分析し、課題を見つけて対処する。					
	計画力	チーム力の向上のために、段階的な練習計画をたてる。					
	創造力	新たな戦術・戦略などで新たな価値観を創り出す。					
チームで働く力	発信力	チーム内で戦術・戦略面での自分の考えを提案する。					
	傾聴力	チーム内で戦術・戦略面で、他人の考えをしっかりと把握する。					
	柔軟性	チーム内で戦術・戦略面で意見の相違があっても、柔軟に対処する。					
	状況把握力	練習または試合、その他行事のなかで、どういう場面であるかを常に把握して対処する。					
	規律性	遅刻・無断欠席など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	試合の中や行事の中でストレスを感じても、動揺せずに冷静に対処する。					
テキスト及び参考文献							
テキスト・参考文献：特定のものは特になし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「フィジカルトレーニング」、「エアロビクス」、「健康管理論」、「各スポーツ演習」「生涯スポーツ」など 資格との関連：（レクリエーションインストラクター、スポーツインストラクター）							
学修上の助言				受講生とのルール			
・ 演習実技に対して積極的に取り組んでほしい。 ・ 課題種目について相互に動作研究を行い技能を修得してほしい。 ・ 他の学生に対して援助をしてほしい。				・ 必要に応じて更衣をし、室内シューズとタオルを準備する。 ・ 携帯電話は必要ないので持ち込まない。 ・ 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 ・ 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	30	①	✓			・毎回の課題に対して、しっかりと記録されているかどうかを評価する。 ・授業で学習した内容の理解度とその実践結果を評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			・授業内容について、しっかりと実践されているかどうか評価する。 ・スキルを習得し、実践（試合）に活かしているかどうかを評価する。 修得した知識技能を応用活用して課題解決に導いていけたかを評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			・前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例にも基づいて学修態度を評価する。 （主体性） ・スキル練習や試合、その他行事において自分の役割を積極的に果たしているか。 （実行力） ・個人スキルの向上や目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成しているか。 （課題発見力） ・自分のスキルやチームの弱点を分析し、課題を見つけて対処しているか。 （創造力） ・新たな戦術・戦略を創り出しているか。 （発信力） ・チーム内で戦術・戦略面での自分の考えを提案することができているか。 （傾聴力） ・チーム内で戦術・戦略面で、他人の考えをしっかりと把握することができているか。 （規律性） ・遅刻・無断欠席など、学習意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業で学んだ様々な知識を体系的に理解し、自分に合った練習方法を見つけて実践し、著しく個人スキルとチームスキルの向上が図れる場合A(優)。 さらに、将来的に計画的に実践させることができると思われ、特に指導的立場にいると思われたらS(秀)となる	授業で学んだ様々な知識を理解し、それを活かした練習計画が実践できると共に個人スキルの向上が図れた場合B(良)。 授業に参加し、個人スキルの向上が図れなくても、主体的に行動することができればC(可)である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	チームスポーツへの導入で実践するスポーツ種目を把握する。	講義 教員からの説明と実際に準備をする。(秦)	種目の理解と用具の扱い方など、次回から円滑に展開できる。	(予習) チームスポーツ演習とはどのような授業か、予習する。 (復習) 用具の扱い方などを確認する。	45	課題発見力 傾聴力 規律性
2	バスケットボールへの導入グループ分けのためのテストを実施する。(伊藤照)	演習 教員による説明の後、実際にスキル練習する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	種目の概説と練習内容・方法の説明を受け、基礎的な実践ができる。	(予習) バスケットの基本技術を理解し、自らの課題を確認するための予習をする。 (復習) テスト結果を確認し反省する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	バスケットボールの技術習得とスキルテストを実施する。①(伊藤照)	演習 教員による説明の後、実際にスキル練習する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	基本技術(パス・ドリブル・シュート等)習得と簡易ゲームができる。	(予習) バスケットの基本技術(パス・ドリブル・シュート等)について知識を予習する。 (復習) 左記の基本技術の仕方を確認する	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	バスケットボールの技術習得とスキルテストを実施する。②(伊藤照)	演習 教員による説明の後実際にスキル練習する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	基本技術(パス・ドリブル・シュート等)習得と周りやチーム全体の状況を把握できる。	(予習) バスケットの基本技術(パス・ドリブル・シュート等)についての知識を予習する。 (復習) 左記の基本技術の仕方を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	バスケットボール運営法習得とグルーピングによるチームリーグ戦を実践する。①(伊藤照)	演習 総合練習の後、総当たりの第1戦を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	周りやチーム全体の状況を把握して、試合結果の向上に積極的に、粘り強く取組むことができる。	(予習) バスケットのルールと戦術についての知識を予習する。 (復習) 試合結果振り返り反省する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	バスケットボール運営法習得とグルーピングによるチームリーグ戦を実践する。②(伊藤照)	演習 総合練習の後、総当たりの第2戦を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	周りやチーム全体の状況を把握して、試合結果の向上に積極的に、粘り強く取組むことができる。	(予習) バスケットのルールと戦術についての知識を予習する。 (復習) 試合結果振り返り反省する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	バスケットボール運営法習得とグルーピングによるチームリーグ戦を実践する③(伊藤照)	総合練習の後、総当たりの第3戦を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	周りやチーム全体の状況を把握して、試合結果の向上に積極的に、粘り強く取組むことができる。	(予習) バスケットのルールと戦術についての知識を予習する。 (復習) 試合結果振り返り反省する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	バスケットボール運営法習得とグルーピングによるチームリーグ戦を実践する④(伊藤照)	総合練習の後、総当たりの第4戦を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	周りやチーム全体の状況を把握して、試合結果の向上に積極的に、粘り強く取組むことができる。	(予習) バスケットのルールと戦術についての知識を予習する。 (復習) 試合結果振り返り反省する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	フットサルの技術を修得するための練習をする。①(伊藤智)	教員による説明の後、実際にスキル練習する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	基本技術(パス・ドリブル・シュート等)習得と簡易ゲームができる。	(予習) フットサルの基本技術についての知識を予習する。 (復習) 左記の基本技術の仕方を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	フットサルの技術を修得するための練習をする。②(伊藤智)	演習 教員による説明の後、実際にスキル練習する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	基本技術(パス・ドリブル・シュート等)習得と簡易ゲームができる。	(予習) フットサルの基本技術についての知識を予習する。 (復習) 左記の基本技術の仕方を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	フットサルの技術を修得するための練習をする。③(伊藤智)	教員による説明の後、実際にスキル練習する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	基本技術(パス・ドリブル・シュート等)習得と簡易ゲームができる。	(予習) フットサルの基本技術についての知識を予習する。 (復習) 左記の基本技術の仕方を確認する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	フットサルゲームをグルーピングによるチームリーグ戦として実践する。①(伊藤智)	演習 総合練習の後、総当たりの第1戦を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	周りやチーム全体の状況を把握して、試合結果の向上に積極的に、粘り強く取組むことができる。	(予習) フットサルのルールと戦術についての知識を予習する。 (復習) 試合結果振り返り反省する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
13	ボールゲームの戦術を学ぶ。	オンデマンド (復習内容の質問に対してフィードバックする) アクティブラーニング	フットサルの一般的なチーム戦術を理解できる。	(復習) フットサルのチーム戦術を考え、レポートを作成する。	45	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	フットサルゲームをグルーピングによるチームリーグ戦として実践する。②(伊藤智)	演習 総合練習の後、総当たりの第2戦を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	周りやチーム全体の状況を把握して、試合結果の向上に積極的に、粘り強く取組むことができる。	(予習) フットサルのルールと戦術についての知識を予習する。 (復習) 試合結果振り返り反省する。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
15	フットサルゲームをグルーピングによるチームリーグ戦として実践する。③(伊藤智)	演習 総合練習の後、総当たりの第3戦を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) アクティブラーニング	周りやチーム全体の状況を把握して、試合結果の向上に積極的に、粘り強く取組むことができる。	(予習) フットサルのルールと戦術についての知識を予習する。 (復習) 試合結果振り返り反省する。	45	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力